

G3 のツイッター その50

烈剛河内 竹井 保満

時の記念日は、1920年に時の東京天文台と生活改善同盟が、日本国民に時間をキッチリと守り、欧米並みに生活改善と合理化を図ろうと呼びかけたのが始まりです。

現在の我が国ではすでに合理化は進み、交通機関などの発着の正確さは世界一です。

私は、時の記念日はその目的を達成したのだから廃止し、時は金なり、金はエネルギーなりを基本に、エネルギー節約の記念日を作ってほしいと思っています。

江戸時代の生活エネルギー、(住む家を作る・道を作る・橋を作る)などのエネルギーの事で、体を動かすエネルギーのことではありません。その生活エネルギーが1000キロカロリーと推算されています。

現在我々の生活エネルギーは120倍の12万キロカロリーだそうです。東海道五十三次品川宿から上方の京まで五十三の宿場を通り幾日も旅をしたものが、今では新幹線で二時間余りです。これが生活エネルギーの一部です。外交好きな安倍首相の生活エネルギーは如何ほどでしょうか、一月に何回も海外に行かれます。専用車、道路飛行場、ジェット旅客機、燃料や警備そして随員、はては晩餐会などなど生活エネルギーは何億何千万キロカロリーに成るのか想像もできません。

我々の今の生活も生活エネルギーに頼りきりの毎日です。子供の頃は想像もしなかった快適な日々を享受しています。将来は、自家用車が空を飛び、自転車代わりにドローンに乗り、散歩や買い物に行く時代が来ないとは言いきれません。その時この地球上から化石燃料は枯渇してしまうでしょう。省エネが叫ばれて次々と素晴らしい発見発明がありました。電気代が蛍光灯の二分の一よりやすいLED電球が発明され素晴らしいと思っていたら、LED電球を何万個も使って公園にイルミネーションを作り、電力を浪費し、人寄せの金儲け主義におどろきました。

哺乳動物の心臓は、15億回鼓動するのだそうです。小さいハツカネズミも大きな象も同じ15億回動くと寿命が来るといことです。ハツカネズミの鼓動は0.1秒ですが、象の鼓動は3秒に1回です。15億回で止まるのは、心臓の細胞が更新できないためと言われてます。象は小食ですが、ハツカネズミは大食です。小さい物は大きなものに比べて非常に効率が悪いのです。排気量の大きいハーレーダビットソンと大型のバスの様なものです。

多少不便でも将来の孫子の為にエネルギー消費を抑え、公害を出さない水素発電所の出来るのを待ちましょう。